

道産 CLT 利用促進に向けた 6 者タイアップ協定を締結

— CLT の『Value UP』を実現へ—

物林株式会社は、北海道、株式会社イトイグループホールディングス、株式会社 CLTmat、株式会社北海道銀行、地方独立行政法人北海道立総合研究機構との間で、道産 CLT（直交集成材）の利用促進に関するタイアップ協定を 2026 年 2 月 9 日に締結いたしました。



1. 協定の背景と目指す方向性

本協定は、炭素を長期間固定化する道産 CLT の利用拡大を目的として締結するものです。

6 者が連携し、土木分野および建築分野における実証と普及を推進することで、ゼロカーボン北海道の実現と地域木材産業の持続的発展を目指してまいります。

2. 物林の役割 — 実装基盤を担う中核として

当社は、道産 CLT の供給基盤を構築する実装パートナーとして、木材流通・加工ネットワークを活かし、CLT 部材の調達・加工・物流体制を整備します。

土木向け特殊仕様（防水・防腐等）への対応や、建築分野における安定供給体制の確立を通じ、道産 CLT の社会実装を加速させる供給インフラの中核として、その役割を担います。

本取り組みは単なる素材供給にとどまらず、木材の可能性を社会インフラへと昇華させる挑戦です。素材を構造材へ、さらに社会的価値へと高めていく本取り組みを通じて、当社は木材利用における課題を解決し、『Value UP』を推し進めてまいります。

3. 理念と産業横断連携

当社は企業理念『自然と人間の調和』の実現を目指し、木材利用の高度化を通じて持続可能な社会の構築に貢献します。CLT の普及は、林業・建築・土木・金融など多分野を横断する取り組みであり、産業横断的な連携のもと、継続的な事業推進に取り組んでまいります。

4. SDGs

SDGs は持続可能な社会の実現に向けた国際目標であり、当社は本協定を通じた道産 CLT の活用推進により、森林資源の循環利用による CO₂ 固定化の促進など、複数の目標達成に貢献してまいります。



本件に関するお問い合わせ先

 info@butsurin.jp